

学校法人中央大学等役員名簿（中大法曹関係）

（順不同・敬省略）

一 学校法人中央大学

◎顧問 山本清二郎

◎理事 篠原千廣・柳沢義信・野宮利雄

◎監事 繩稚登

◎評議員会

議長 信部高雄

評議員

阿部三郎・安藤章・猪股喜蔵・飯島正典・市橋千鶴子
 岩田豊・内山弘・大西保・及川昭二・岡田錫洵
 押谷勲雄・木川統一郎・木戸口久治・岸嚴・日下文雄
 倉田雅充・坂本建之助・設樂敏男・篠原千廣・菅沼隆志
 鈴木秀雄・田宮甫・高木典雄・高橋守雄・瀧沢国雄
 寺口真夫・堂野達也・中津川彰・繩稚登・野宮利雄
 原秀男・日野久三郎・藤井光春・松岡登・松家里明
 三上庄一・森田洲右・安原正之・柳沢義信・山本忠義
 依田敬一郎・吉本英雄・若林秀雄

二 財団法人白門奨学会

◎理事長 堂野 達也

◎理事 坂本 建之助・内山 弘・市橋 千鶴子

◎監事 倉田 雅充

◎評議員 石井嘉夫・藤井光春・深沢 守・高橋守雄・村重慶一

吉岡 征雄

◎選考委員会委員

田宮 甫

三 中央大学教育研究振興資金募金常任委員会

◎顧問 山本 清二郎

◎副委員長 大西 保

◎常任委員 猪股喜藏・飯塚信夫・市橋 千鶴子・内山 弘・岡田 錫 洵

及川昭二・木川 統一郎・木戸口 久治・日下文雄・倉田 雅 充

小池 金市・坂本 建之助・設樂 敏男・篠原 千廣・信部 高 雄

繩 稚 登・野宮 利雄・原 秀男・松井 宣・水上 喜 景

山本 忠義・柳沢 義 信

中央大学学員会役員名簿（中大法曹会推薦）

会長 堂野達也

副会長 大西保

顧問 石田寅雄・内山弘・松井宣・山本清二郎

参考 石井一郎・木戸口久治・日下文雄・小池金市・鈴木秀雄

竹村照雄

常任幹事 木川統一郎・倉田雅充・坂本建之助・瀧澤國雄・森田洲右

幹事 阿部三郎・新井弘二・猪股喜蔵・川上正俊・川坂二郎

設樂敏男・信部高雄・篠原千廣・鈴木喜三郎・高橋守雄

繩稚登・野宮利雄・安原正之

會計監事 松岡登

中央大学法曹会役員名簿 (平成五・六年度)

一、顧問・参与

(1) 顧問

石田寅雄 小池金市 堂野達也 滝沢国雄
 倉田雅充 設楽敏男 信部高雄 山本清二郎 八島三郎 (東弁)

石井一郎 大西保 木戸口久治 坂本建之助 野宮利雄 (二弁)

(2)

参与 児島平 奥原喜三郎 木川統一郎 日下文雄 倉田哲治
 小竹耕 小林宏也 鈴木秀雄 戸田宗孝 水上喜景 (東弁)

岡田錫淵 梶原止 竹村照雄 寺尾正二 居林三次 (二弁)

外村隆 小野田六二 近藤三代次 鈴木近治 (二弁)

二、幹事（○は常任幹事）

中村裕二	○繩稚登	高場茂美	須藤正彦	白井正明	真田淡史	佐瀬正俊	小林信明	小林秀正	木戸口久義	笠井浩二	亀井忠夫	大辻正寛	内丸義昭	石井芳光	飯塚孝	安藤憲一	○阿部三郎
中村治郎	中村生秀	堤淳一	瀬川徹	清水紀代志	○佐伯弘	佐藤隆男	笹原桂輔	紺野稔	○久木野利光	片岡義広	川瀬仁司	奥野善彦	伯母治之	石葉泰久	○稲田寛	市川照巳	○安藤章
直井雅人	○中村茂八郎	天坂辰雄	多賀健三郎	志沢徹	○榊原卓郎	佐藤義行	佐々木敏行	小山勲	黒須雅博	岸巖	春日寛	海法幸平	及川昭二	井上勝芳	石渡光一	猪股喜蔵	安藤貞一
永松栄司	名波倉四郎	寺口真夫	田中紘三	○菅沼隆志	坂巻国男	佐藤正八	桜井公望	小林元治	楠忠義	北村忠彦	神谷咸吉郎	川勝勝則	○大高満範	植松功	伊藤茂昭	伊東正	○秋知和憲
西林経博	中村浩紹	寺井一弘	橘節郎	○篠原千廣	佐藤勝	才口千晴	小島敏明	厚井乃武夫	北村一夫	笠原克美	金沢恭男	太田孝久	遠藤和夫	伊井和彦	飯田義則	浅見昭一	

山	宮	○原	成	田	鈴	篠	木	大	安	○横	山	村	增	○本	○藤	長	新
田	島	秀	富	中	木	原	ノ	西	西	山	岸	田	田	間	井	谷	津
賢	崇	男	安	慎	英	由	元	昭	愈	昭	憲	裕	彦	崇	光	川	勇
次	行		信	介	夫	宏	直	一			司		一		春	武	七
郎							樹	郎								弘	
○山	元	深	仲	綱	鈴	柴	小	荻	池	吉	安	○森	溝	堀	深	橋	野
崎	木	沢	居	取	木	田	屋	原	田	田	田	田	口	川	沢	本	島
源			康	孝	則	徹	敏	静	達	幸	隆	洲	喜	文	武	幸	良
三	徹	守	雄	治	佐	男	一	夫	郎	一郎	彦	右	文	孝	久	一	男
山	森	藤	丹	寺	高	島	今	垣	伊	吉	山	山	三	松	船	花	原
田		本	羽	本	橋	田	野	鐔	藤	住	本	本	羽	永	戸	水	山
	寿		健	吉	勇	一	昭	繁	忠	仁	剛	忠	正		征	一	庫
滋	男	猛	介	男	次	彦	昌	敬	敬	男	嗣	義	人	涉	実	佳	佳
山	八	藤	萩	豊	田	○白	斎	加	飯	吉	矢	安	御	○松	福	平	濱
本	木	本	原	田	口	河	藤	毛	田	田	田	原	園	崎	家	松	秀
卓	清	博	平	泰	邦	浩	祐	修	数	哲	英	正	賢	勝	辰	和	和
也	文	光	介	雄	雄	一	一	美	美	哲	一郎	之	治	一	夫	也	和
山	○柳	松	羽	奈	○田	神	佐	川	○岩	(東	湯	山	村	松	堀	平	○服
本	沢	家	田	良	中	洋	々	村	田	弁	川	田	代	合	野	部	邦
政	義	里	忠	道	茂	明	和	延	豊	一	將	茂	辰	夫	智	彦	彦
敏	信	明	義	博			郎	彦		三		豐	夫		嘉		
										〇名					義		

高木新二郎	島田一	河野信夫	井上廣道	秋山寿延	森誠一	○増田浩千	原誠	友部富司	伊達俊二	○鈴木喜三郎	小海正勝	○笠井盛男	○大井勅紀	今中美耶子	新井嘉昭	横溝高至
竹田稔	嶋原文雄	佐藤歳二	大藤敏	朝岡智幸	諸永芳春	三木茂	藤光巧	○中津靖夫	○田中美登里	鈴木誠	駒沢孝	加藤康夫	大塚功男	入倉卓志	飯畑正男	○依田敬一郎
田中康郎	新矢悦二	佐藤久夫	○糟谷忠男	浅香恒久	雪下伸松	向井惣太郎	船越広	中村鉄五郎	○田宮甫	○高橋守雄	三枝信義	門屋征郎	大平恵吾	岩瀬外嗣雄	石井芳夫	○吉本英雄
並木茂	○杉山英巳	佐藤康	○川上正俊	荒川英明	○吉田和夫	村井幸男	古山昭三郎	中吉章一郎	千葉昭雄	田代則春	坂本行弘	○川坂二郎	小野道久	上野操	石川幸吉	○若林秀雄
橋本和夫	須藤典明	沢田三知夫	川島貴志郎	一宮なほみ	(二弁) 脇坂治国	村井芳朗	堀内幸夫	根本隆	栃木敏明	多田武	猿山達郎	川津裕司	笠井直人	遠藤英毅	石黒竹男	(一弁) 五五名) ○渡邊洋一郎

舟橋定之 ○松岡 登 ○村重慶一 山本和敏 綿引 穰

(裁判所 三〇名)

飯田英男 石部紀男 太田文保(転勤)片山博仁(転勤)桐生哲雄

栗原惠三 小林域泰 ○佐野眞一 鹽野健彦 高野利雄

玉井直仁 ○寺西賢二 豊嶋健直 仲田 彰 中津川 彰

中 霽 聳 長山四郎 長野義一 西 正敏 ○保倉 裕

保坂洋彦 堀江信之 ○溝口昭治 ○水上寛治 宗像紀夫

吉川 亘 吉野勝夫 (檢察庁 二七名)

三、會計監事

高橋 崇雄(東弁) 深沢 勝(一弁) 林田耕臣(二弁)

四、正・副幹事長・事務局長・次長

幹事長 安原正之(東弁) 同次長 才口千晴(東弁)

副幹事長 猪股喜倉(東弁) 同次長 瀬川 徹(東弁)

副幹事長 山崎源三(一弁) 同次長 飯田数美(一弁)

副幹事長 鈴木 誠(二弁) 同次長 栃木敏明(二弁)

副幹事長 大藤 敏(裁判所) 同次長 綿引 穰(裁判所)

副幹事長 小田 攻(檢察庁) 同次長 山本修三(檢察庁)

事務局長 及川昭二(東弁)

中央大学法曹会 各種委員会委員名簿 (平成五・六年度)

◎委員長
○副委員長

一、人事委員会 (一〇名)

(東 弁) 大高 満範・篠原 千廣・菅沼 隆志・横山 昭

(一 弁) 設楽 敏男・松家 里明

(二 弁) ◎野 宮 利雄・大井 勅紀

(裁判所) 河野 信夫

(検察庁) 仲田 章

二、会報編集委員会 (一〇名)

(東 弁) 植松 功・金澤 恭男・堤 淳一・御園 賢治

(一 弁) 福吉 實・神 洋明

(二 弁) ◎吉田 和夫・猿山 達郎

(裁判所) 舟橋 定之

(検察庁) 小林 域泰

三、会則改正委員会 (一〇名)

(東 弁) 小山 勲・佐藤 義行・榊原 卓郎・堀川 文孝

(一 弁) ◎深沢 守・池田 達郎

(二弁) 鈴木喜三郎・笠井盛男

(裁判所) 沢田三知夫

(検察庁) 保倉裕

四、法職教育検討委員会(一八名)

(東弁) 浅見昭一・安藤憲一・井上勝義・奥野善彦・厚井乃武夫

清水紀代志・中村治郎・安田隆彦

(一弁) ◎高橋勇次・荻原静夫・鈴木秀一・八木清文

(二弁) 新井嘉昭・伊達俊二・友部富司・中川隆博

(裁判所) 須藤典明

(検察庁) 寺西賢二

五、大学問題委員会(五二名)

(東弁) ◎安藤章・○川勝勝則・久木野利光・日下文雄・小林秀正

小林宏也・佐藤勝・紺野稔・鈴木秀雄・鈴木康洋

須藤正彦・寺口真夫・縄稚登・中村生秀・中村茂八郎

堀合辰夫・本間崇・松崎勝一・森田洲右・吉田幸一郎

稲田寛・田中紘三・中村裕二・平松和也

(二弁) 岩田豊・岡田錫淵・倉田雅充・設楽敏男・信部高雄

竹村照雄・田中慎介・荻原平・柳沢義信・吉本英雄

依田敬一郎

(二 弁)

高橋 守雄・内山 弘・大西 保・川坂 二郎・小海 正勝
坂本 建之助・鈴木 孟秋・田宮 甫・根本 隆・増田 浩千

雪下 伸松

(裁判所)

高木 新二郎・佐藤 久夫

(検察庁)

中津川 彰・佐野 眞一(転勤・後任未定)

平成七年度講師名簿（○印新規推薦）

法曹論

秋山 壽延（裁判官・二二期）

伊藤 鉄男（検察官・二七期）

稲田 寛（弁護士・一七期）

司法演習

前期（七・四・一四）七・一七

〔司法演習二（二年）〕

憲法○名（統治機構）

民法七名（債 権）

（二二コマ）

1 鈴木 孟秋（二弁・一四期）二コマ

2 石井 芳光（東弁・一七期）一コマ

3 猿山 達郎（二弁・一九期）二コマ

4 新井 嘉昭（二弁・二二期）二コマ

5 川村 延彦（一弁・二二期）二コマ

6 佐藤 勝（東弁・二七期）二コマ

7 友部 富司（二弁・三三期）一コマ

刑法七名（各論中心）

1 吉川 壽純（一弁・一六期）二コマ

(一ノコマ)

② 小田 攻(檢察・二四期)ニコマ

③ 五島 幸雄(檢察・二四期)ニコマ

4 向井 惣太郎(二弁・三一期)ニコマ

5 安田 隆彦(東弁・三六期)ニコマ

6 伊達 俊二(二弁・三六期)一コマ

後期(七・九・一六〇八・一・一三)

〔司法演習一(二年)〕

憲法五名(人權)

(一〇コマ)

1 萬羽 了(一弁・一六期)ニコマ

2 中津 靖夫(二弁・一七期)ニコマ

3 青木 康国(一弁・二九期)ニコマ

4 中村 裕二(東弁・三九期)ニコマ

5 西 込 明彦(東弁・三六期)ニコマ

民法六名(総則)

(一二コマ)

1 鈴木 孟秋(二弁・一四期)ニコマ

2 荻原 静夫(一弁・一五期)ニコマ

3 小海 正勝(二弁・一七期)ニコマ

4 石井 芳光(東弁・一七期)ニコマ

5 才口 千晴(東弁・一八期)ニコマ

6 湯川 将(東弁・三八期)ニコマ

刑法六名(総論中心)

1 吉川 壽純(檢察・二四期)ニコマ

(一〇コマ)

後期(七・九・一六〇八・一・一三)

〔司法演習三(二年)〕

憲法〇名(総 合)

民法六名(物 件)

(二コマ)

- ② 狩谷武嗣(檢察・二四期)ニコマ
- ③ 伊藤武男(檢察・二七期)一コマ
- 4 塚越 豊(東弁・三一期)一コマ
- 5 安田隆彦(東弁・三六期)ニコマ
- ⑥ 額田みさ子(二弁・三六期)ニコマ

刑法六名(応 用)

- ① 平野智嘉義(東弁・一四期)ニコマ
- 2 大辻正寛(東弁・一六期)ニコマ
- 3 猿山達郎(二弁・一九期)ニコマ
- 4 新井嘉昭(二弁・二二期)ニコマ
- 5 平松和也(東弁・三七期)ニコマ
- 6 厚井乃武夫(東弁・四〇期)ニコマ
- 1 酒井憲郎(一弁・二四期)ニコマ
- ② 村山創史(檢察・二四期)ニコマ
- 3 小幡雅二(東弁・二五期)ニコマ
- ④ 羽成 守(東弁・二八期)ニコマ
- 5 向井惣太郎(二弁・三一期)ニコマ
- 6 伊達俊二(二弁・三六期)ニコマ

会 務 報 告 書

中央大学法曹会事務局長

及 川 昭 二

一 中央大学法曹会が平成五年五月二〇日から平成七年五月一八日までにした活動の概要は、事務局が作成した別紙中央大学法曹会平成五・六年度開催行事報告書に詳細にされておりです。以下主要な活動だけ報告の補充をいたします。

二 わが中央大学法曹会に負荷されている重大な目的使命に鑑み、野宮前執行部の輝かしい業績を承継しつつ、安原幹事長らが、発想提案し、執行部内で十分の審議を経、当執行部の方針とされた主たる活動目標は、次の(一)と(二)であつたと思います。

- (一) (法曹会会則第三条が規定している活動)
 - ① 中央大学の健全な運営に協力し、意見を具申すること
 - ② 会報及び会員名簿の発行
 - ③ 研究会、講演会及び座談会の開催
- (二) (当執行部独自の政策に基づく活動)

① 各種委員会（人事委員会・法職教育検討委員会・会報編集委員会・会則改正委員会・大学問題委員会）規則の新設・改正

② 前執行部から引継いだ司法特設講座講師の継続推薦とこの業務を所管する法曹会内担当組織の整備確立

③ 中央大学教育研究振興資金の募金推進

三(一) 右二の(一)の①「大学当局への具申」の実行については当執行部は、①平成五年九月六日付「学校法人中央大学の評議員会の活性化を図るため、評議員会の機能、議事運営、評議員の定数・構成、選任方法等をふくめた問題の検討立案」の諮問及び「中央大学第二部（夜間部）」のあり方について」の検討を大学問題委員会に要請した。これを受けて大学問題委員会は二十回にも及ぶ委員会を開催し、審議を十分盡した上、諮問事項について執行部に答申されました。執行部は右答申に基いて再度幹事会にかけてその承認を得、本年四月二十八日大学関係当局に具申書を提出した。更に大学への協力後援活動として日本比較法研究所開催の「国際社会における法の普遍性と固有性」をテーマとしたシンポジウムに法曹会として積極的に参加しました。シンポのあとの懇親会にも法曹会員が数十名出席し大盛会に終らせました。

(二) 次に②の「会報、会員名簿等発行」ですが、昨年九月頃から会報編集委員会と執行部が一体となり本格的準備活動を開始しました。従前発行された会報を基本的な参考資料としながらも今回はデザイン、誌面、写真等魅力があり会内外読者の注目と高い評価を得るよう配慮し、発行日についても本年総会当日先生方のお手元に配布できるよう現在大いに頑張っている最中というところです。次に現法曹会員名簿改訂版発行ですが、現名簿は平成元年五月二〇日当時の赤坂執行部によって発行されたものです。既に相当期間を経過しております。会報編集委員会と執行部は改訂版発行に必要な関係資料の入手とその整理に追われておりますが、総会当日迄に何とか完成配布できることを願っております。

(三) 同③の「講演会等行事の開催」ですが特筆することのできた行事としては中央大学学生会と共催した、平成六年二月二十三日中央大学駿河台記念館で行った中央大学名誉教授橋本公巨先生の学士院会員ご就任を記念した「テレビ放送と五五年体制の崩壊」と題する講演会でありました。聴衆約二五〇名をかぞえ引き続き行った懇親会もまた大盛会でした。橋本先生の講演録は先生のご諒解を得て本誌に掲載させていただいております。

四(一) 前記二の①の「各種委員会規則の新設・改正」ですが、各種委員会の積極的な取組みにより「大学問題委員会」と「人事委員会」「会則改正検討委員会」の各規則が新たに制定されました(会則改正検討委員会の名稱は会則検討委員会と改稱)。法職教育検討会規則は司法特設講座講師の銓衡、推薦等の業務が同委員会の所管として拡張されたため目的、委員会の人的構成等大幅な改正となりました。これらの各規則は本誌関係諸規定中に掲載しております。残るのは会報編集委員会の規則ですが、その必要性にとばしいとの意見が多く従来の慣行に基く運営で十分ことが足りるとされ新設には至りませんでした。

(二) 同②の中央大学司法特設講座(運営委員会)への協力ですが、今までのところ前記法職教育検討委員会の所管とするための規則等未完の状態にあり、それらが発効される次年度までは現執行部がその実行推進を担当することとし、平成七年度講師(担当・氏名は本誌に掲載)の推薦、大学側及び講師との懇談会等の関係業務の処理は主に執行部(実際の担当は才口事務次長)がやりその責任を果しました。

(三) 同③の中央大学教育研究振興資金募金推進ですが、当執行部は現今の不況深刻化する経済状況下における募金会の議を経て各ブロック別に会員諸先生に懇請いたしました。

◎法曹会募金目標額金八〇、〇〇〇、〇〇〇円

◎募金懇請基準額

- ① 中央大学理事・監事（一〇〇万）
- ② 中央大学評議員（五〇万）
- ③ 中央大学学員会常任幹事（三〇万）
- ④ 同 幹事（二〇万）
- ⑤ 同 協議員（五万）
- ⑥ 中央大学法曹会幹事（五万）
- ⑦ 同 会員（三万）

右先生方のご協力によりお蔭をもちまして平成七年三月二〇日現在

「申込額金三三、二七〇、〇〇〇円」「払込額金三三、〇七〇、〇〇〇円」にまで到達しております。このほか法曹会員が法曹会以外の学研連、年次地域支部等から寄附申込額を合せますと「約四八、〇〇〇、〇〇〇円」となります。なお募金期間は更に平成八年十一月一四日迄延長認可されております。次期執行部におかれては会員諸先生のなお一層のご協力により、八千万円の目標額を必ず達成されるよう祈って止みません。

五 おわりにこの二年間非力な事務局長に対し格別のご指導、ご協力いただきました安原幹事長はじめ執行部及び各種委員会委員長らの諸先生に対し心から感謝と御礼を申し上げます。

中央大学法曹会平成五・六年度開催行事報告書

自平成五年五月二〇日
 経平成七年五月一八日
 中央大学法曹会事務局

年月日	行事	摘要
5・5・20	定時総会	於 中央大学駿河台記念館 平成五年度幹事・会計監事選任
5・5・20	幹事会	右同所 幹事長・副幹事長・常任幹事互選 事務局長・事務局次長任命
5・5・29	学生会協議員会 学生会総会	於 中央大学駿河台記念館 正副幹事長・事務局長ら名数参加 (前日に学生会支部長会議・安原幹事長出席)
5・6・7	平成五年度第一回執行部会	於 法曹会館 議題 1 事務局次長の委嘱と職務分担の件 2 新旧執行部引継会の件 3 幹事会・常任幹事会(年四回)の開催日予定の件 4 正・副幹事長等就任披露懇談会開催の件 5 本年度会務執行の基本姿勢の件
5・7・5	第二回執行部会	於 東弁会館 議題 1 第一回幹事会・常任幹事会・司法修習生との懇親会開催(七月一六日)の件 2 各種委員会委員選任委嘱の件 3 中央大学法曹会推薦司法演習講師バックアップ委員会

5・7・13	新旧執行部事務引継会	於 有楽町さがみ 事務引継書により具体的説明を受けて後懇談した	(仮称) 設置及び同講師との懇談会等の件
5・7・16	第一回常任幹事会 第一回幹事会	於 アルカディア市ヶ谷 議題 1 本年度会務運営の方針表明(幹事長) 2 各種委員会委員選任の件 3 会費額決定の件(予算について決定) 4 報告 学校法人中央大学基本規定(寄附行為) 検討委員会 (第二次) 委員五人、中央大学早朝選考委員会委員七人 推薦の件 後長	
5・7・28	各種委員会(第一回) (人事・法職検討・会報編集・会則改正・大学問題)	於 東弁会館 議題 1 各種委員会委員長、副委員長選任の件 2 各種委員会運営の件	
5・8・30	第一回正副幹事長会議	於 一弁会議室 議題 1 大学問題委員会への諮問事項検討の件 2 法職教育検討委員会を除く各種委員会規則制定の件 3 中央大学教育研究振興資金募金の件	
5・8・30	法職教育検討委員会(第一回)	於 一弁会議室 議題 1 委員会運営に関する件 2 今後の委員会の日程	
5・9・6	第三回執行部	於 東弁会館 議題 1 大学問題委員会への諮問事項の件 2 法職検討委員会を除く各種委員会規則制定の件 3 中央大学教育研究振興資金募金推進の件	

	<p>5・9・7</p> <p>大学問題委員会(第二回)</p>	<p>5・9・27</p> <p>会則改正委員会(第二回) (注)当委員会は、その後必要により随時開催した。</p>	<p>5・10・4</p> <p>第四回執行部会</p>
<p>4 學術講演会(講師橋本公巨先生)開催の件</p> <p>5 大学主催司法演習運営の打ち合せ会(九月一〇日午後六時・於駿河台記念館)参加の件</p>	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 1 執行部の諮問について</p> <p>2 その他</p>	<p>於 松本樓</p> <p>深沢守委員長の設営により執行部も招待され今後の活動方針等について協議</p>	<p>於 東弁会館</p> <p>◎特別出席者</p> <p>真田芳憲(日本比較法研究所長)</p> <p>宮田永生(同事務室長)</p> <p>(第二回シンポジウム協力要請)</p> <p>明念一雄(中央大学総務部募金課長)</p> <p>(寄附状況説明のため)</p> <p>議題 1 中央大学教育研究振興資金募金の件</p> <p>① 明念課長より全体の寄附状況の説明あり。</p> <p>② 執行部としては一二月三日の幹事会に目標額、募金組織編成等について提案</p> <p>その承認を経て募金勧誘活動を具体的に進めることに決定。</p> <p>2 日本比較法研究所第二回シンポジウム後援の件</p> <p>真田所長から法曹会にご挨拶があり、第二回シンポジウム開催について法曹会からの特別協力要請を求められ、法曹会としてはこの要請に対し最善の協力を約した。</p> <p>3 學術講演会(講師橋本公巨先生)開催の件</p> <p>橋本先生のご都合を伺うと共に学員会の協力が得られ</p>

5・11・6	日本比較法研究所シンポジウム (中央法曹会後援行事)	於 中央大学駿河台記念館 議題 1 テーマ 2 国際社会における法の普遍性と固有性 終了後懇親パーティ・大盛會 法曹会から約五〇名出席
5・11・4	大学問題委員会(第四回)	於 東弁会館 議題 平成四年二月二六日付学校法人中央大学基本規定(寄附行為)の検討懇談会「具申書」 (1) 理事・監事制度 (2) 評議員制度 の機能、議事運営、定員、選任方法等の検討
5・11・2	法職教育検討委員会(第四回)	於 一弁会議室 議題 委員会の運営に関する件
5・10・27	人事委員会(第二回)	於 法曹会館
5・10・20	中央大学司法試験対策合同会議準備会(仮稱)	於 中央大学駿河台記念館 法曹会から幹事長と事務局長出席
5・10・7	大学問題委員会(第三回)	於 東弁会館 議題 執行部の諮問の取扱について
5・10・5	法職教育検討委員会(第三回)	於 一弁会議室 議題 委員会の運営に関する件
		4 右の各確認は安原、猪股副幹事長に一任。 第二回幹事会・常任幹事会開催の件

5・11・8	第五回執行部会	<p>於 二弁太平洋食堂</p> <p>議題 1 第二回幹事会・常任幹事会開催の件</p> <p>2 司法演習講師と法曹会との懇談会開催の件 (十一月二日の法職教育検討委員会で決定)</p>
5・11・12	中央大学評議員会議長選考協議会	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 評議員議長候補推薦の件</p>
5・11・14	中央大学ホームカミングデー	<p>於 多摩キャンパス</p> <p>法曹会からテレホンカード二〇〇枚無料提供。安原幹事長、及川事務局長、飯田事務次長ら参加。</p>
5・11・24	第六回執行部会	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 1 第二回常任幹事会・幹事会及び修習生を招いての忘年懇親会諸準備の件</p> <p>2 右会の議事中央大学教育振興資金募金の件についての提案理由の説明書の作成は安原幹事長に一任。</p> <p>3 司法演習に関する大学側主催の打ち合せ会(一二月一四日 於駿河台記念館)に法曹執行部は全員参加することに決定。</p>
5・12・3	第二回常任幹事会 第二回幹事会・引続いて四六期修習生との懇親会	<p>於 アルカディア市ヶ谷</p> <p>議題 1 会務報告(各種委員会会則制定の件・司法演習講師バックアップの件・その他)</p> <p>2 中央大学教育・研究振興資金募金の件 提案通り承認さる。</p> <p>① 中央法曹会募金目標額 平成五年九月三〇日現在の申込額二、〇二八万円に六、〇〇〇万円を追加して八、〇〇〇万円を超える募金の達成を目標とする</p>

5・12・7	法職教育検討委員会(第五回)	<p>② 募金の組織と推進方法</p> <p>正副幹事長が責任者になって、百周年募金の実績を参考に会員の理解と協力をお願いする。</p> <p>各ブロック毎に、百周年の四分の一額の達成のため中大役員・学生会役員(協議員・幹事)等経験者に特段の協力を依頼する。</p> <p>3 各種委員会報告(人事・法職検討・会則・大学問題)(報告事項)</p> <p>1 日本比較法研究所シンポジウム(十一月六日)開催協力の件</p> <p>2 司法演習講師との打ち合せ会(二月一四日・二月一〇日)実施の件</p> <p>3 橋本公巨先生講演会(二月三日)実施の件</p> <p>4 会計報告の件</p>
5・12・9	大学問題委員会(第五回)	<p>於 一弁会議室</p> <p>議題 委員会の運営について</p>
5・12・9	臨時執行部会	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 中央大学教育研究振興資金募金についての第二回常任幹事会・幹事会決議執行の件</p>
5・12・14	司法特設講師と、大学側、法曹会執行部との懇談会	<p>於 中央大学駿河台記念館</p>
5・12・22	法職教育検討委員会(第六回)	<p>於 中央大学駿河台記念館</p> <p>議題 司法特設講師のバックアップについて</p>
6・1・10	第七回執行部会(兼新年懇親会)	<p>於 有楽町さがみ</p>

6・1・18	法職教育検討委員会(第七回)	於 一 弁会議室
6・1・11	大学問題委員会(第六回)	<p>於 東弁会館</p> <p>議題</p> <p>1 大学問題委員会規則(案)について 委員長趣旨説明 制定根拠、審議方法、改定につき質疑応答 満場一致で制定可決</p> <p>(2) 幹事長挨拶(要会則改正委員会の意見聴取)</p> <p>(3) 評議員会制度についての問題点(4)「評議員会の議事運営について」審議</p> <p>2 特に、議事運営の方法、議事規則の制定の可否、開催回数等を中心に審議 猪股副幹事長 私立学校法四二条、四三条及び学校法人中央大学基本規定三三条との関係の説明 評議員会の性格(諮問・議決・折衷)につき説明</p> <p>3 2 橋本公巨先生講演会(二月二三日)会場等の件 第三回幹事会(三月二三日(水))会場等の件 中央大学駿河台記念館</p> <p>議題</p> <p>1 司法演習講師派遣及び運営に関する件 ① 本件担当才口事務局長次長から従前の経過等詳細説明があり、</p> <p>② 大学側が設置した司法特設講座運営委員会に対応する窓口組織を法曹会も作る必要があるとの意見が出された。</p> <p>③ しかし六年度の講師推薦は本年一月二〇日限りと追っているので、講師予定者の選考及び大学側窓口との折衝は執行部として処理することとし、才口・飯田・栃木各ブロック次長に一任した。</p>

6・2・8		<p>大学問題委員会(第七回)</p>	
<p>6・2・8</p>	<p>第八回執行部会</p> <p>於一弁会議室</p> <p>議題</p> <p>1 橋本公巨先生講演会実行の件</p> <p>① 案内状追加発送・新聞掲載等依頼</p> <p>② 講演会当日の役割分担</p> <p>2 司法演習講師派遣及び運営に関する件</p> <p>法曹会と執行部と司法演習講師団との懇談会を三月一六日に実施決定</p> <p>3 中央大学教育研究振興資金募金実施の件</p> <p>今後の進め方として、募金要請額について三会共通の基準を作る必要ありとのつよい提案があり(鈴木副幹事長)慎重に検討した結果、百周年募金の経緯についての猪股副幹事長の説明を参考にして次の基準額を決定</p> <p>中央大学理事・監事(一〇〇万)</p> <p>評議員(五〇万)</p> <p>学生会常任幹事(三〇万)</p> <p>同幹事(二〇万)</p> <p>協議員(五万)</p> <p>中央大学法曹会幹事(五万)</p> <p>同会員(三万)</p> <p>4 大学問題委員会規則案答申書の件</p> <p>於二弁会議室</p> <p>平成四年二月二六日付学校法人中央大学基本規定(寄附行為)の検討懇談会「具申書」の</p> <p>(2)(1) 理事・監事制度</p> <p>評議員制度</p> <p>の機能、議事運営、定員、選任方法等の検討主に「評議員制度について(継統)</p> <p>特に「評議員会の議事運営について」の</p> <p>① 評議員会内委員会の設置</p>		

6・3・23	6・3・23		6・3・18	6・3・16	6・3・2	6・3・1	6・2・23	6・2・22	
第三回常任幹事会 第三回幹事会	臨時執行部会		大学問題委員会(第九回)	中大法曹会執行部と司法演習講師との懇談会	第九回執行部会	大学問題委員会(第八回)	橋本公巨先生特別講演会 学員会・法曹会共催 講演録は法曹第一五号掲載	法職教育検討委員会(第八回)	
於 中央大学駿河台記念館 議題 1 会務報告	於 中央大学駿河台記念館 議題 第三回常任幹事会・幹事会準備の件	於 東弁会館 議題 平成四年二月二六日付学校法人中央大学基本規定(寄附行為)の検討懇談会「具申書」の (1) 理事・監事制度 (2) 評議員制度 の機能、評議運営、定員、選任方法等の検討主に評議員制度について(継続)	於 東弁会館 議題 平成四年二月二六日付学校法人中央大学基本規定(寄附行為)の検討懇談会「具申書」の (1) 理事・監事制度 (2) 評議員制度 の機能、評議運営、定員、選任方法等の検討主に評議員制度について(継続)	於 中央大学駿河台記念館	於 東弁会館 議題 学校法人中央大学評議員候補予定者推薦の件	於 東弁会館 議題 評議員会の議事運営特に評議員会内委員会設置の可否について	於 中央大学駿河台記念館 来聴者 約二五〇名 終了後懇親パーティ(大盛会)	於 一弁会議室	② 議事規則の制定の可否について

6・4・9	中央大学多摩キャンパス観校会と懇親パーティ	<p>2 会計報告</p> <p>3 中央大学教育・研究振興資金募金推進の件（執行部提案承認）</p> <p>4 大学問題委員会規則制定の件</p> <p>5 各種委員会報告</p> <p>6 司法演習講師推薦等経過報告</p>
6・4・12	人事委員会（第三回）	<p>於 二弁会議室</p> <p>議題 1 平成六年学校法人中央大学評議員候補者推薦委員会委員推薦の件</p> <p>2 平成六年学校法人中央大学評議員候補者推薦の件</p> <p>3 学校法人中央大学法職講座運営委員会委員推薦の件</p> <p>4 副委員長選任の件</p> <p>5 報告事項</p> <p>財団法人白門奨学会理事及び監事推薦の件</p>
6・4・18	法職教育検討委員会（第九回）	<p>於 一弁会議室</p>
6・4・19	臨時執行部	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 平成六年度第一回常任幹事会・幹事会・総会・懇親パーティ実行準備の件</p>
6・5・9	第十一回執行部会	<p>於 一弁会議室</p> <p>議題 1 平成六年度第一回常任幹事会・幹事会・総会・懇親パーティ（五月一九日（休））開催採集準備の件</p> <p>2 平成六年度第二回常任幹事会・幹事会開催の件</p> <p>① 開催日（七月二日 金曜日）</p> <p>② 会場の選定（アルカディア市ヶ谷）</p> <p>③ 四八期中大出身司法修習生に多数参加を事前要請す</p>

	る
6・5・10	大学問題委員会(第一〇回) 於 東弁会館 議題 評議員会の議事運営について
6・5・16	法職教育検討委員会(第一〇回) 於 一弁会議室 議題 1 法職教育検討委員会規則改正の件 2 講師派遣候補者リスト作成の件
6・5・19	平成五年度第四回常任幹事会 同 幹事会 平成五年度定時総会 於 中央大学駿河台記念館 議題 1 平成五年度会務報告承認の件 2 各種委員会活動報告承認の件 3 会計報告・監査報告承認の件 於 中央大学駿河台記念館 幹事長挨拶 議題 1 議長、副議長選出 2 平成五年度会務報告承認の件 3 各種委員会活動報告承認の件 4 会計報告、監査報告承認の件 引続いて平成六年度栄進者・叙勲者・新入会員歓迎大祝賀会開催
6・6・1	平成六年度 第一回執行部会 於 東弁会館 議題 1 本年度事業・会務執行基本姿勢の件 2 本年度定例執行部会日時決定の件 3 本年度常任幹事会・幹事会・平成七年度総会日時決定の件 ① 常任幹事会・幹事会 第三回・平成六年十二月 九日(金) 第四回・平成七年 三月三日(木) 平成七年 五月一八日(木) ② 平成七年度総会 4 第二回常任幹事会・幹事会(七月二二日(金)) 実行の件

6・6・7	<p>大学問題委員会（第十一回）</p>	<p>於 東弁会館 議題 前回の続行</p> <p>5 中央大学教育研究振興資金募金推進の件 6 法曹会会員名簿改訂版発行の件 7 法曹（第一五号）発行準備の件</p>
6・6・13	<p>法職教育検討委員会（第十一回）</p>	<p>於 一弁会議室</p> <p>於 東弁会館 議題</p> <p>1 第二回常任幹事会・幹事会実行準備の件 2 中大法曹会と中大出身四八期司法修習生との懇談会（七月二二日）実行の件 3 法職教育検討委員会規則改正答申書の件 4 中央大学教育研究振興資金募金推進の件 5 法曹一五号発行準備の件 6 法曹会会員名簿改訂版発行の件</p>
7・7・8	<p>第二回執行部会</p>	<p>於 東弁会館 議題</p> <p>1 第二回常任幹事会・幹事会実行準備の件 2 中大法曹会と中大出身四八期司法修習生との懇談会（七月二二日）実行の件 3 法職教育検討委員会規則改正答申書の件 4 中央大学教育研究振興資金募金推進の件 5 法曹一五号発行準備の件 6 法曹会会員名簿改訂版発行の件</p>
6・7・8	<p>第二回執行部会</p>	<p>於 東弁会館 議題</p> <p>1 第二回常任幹事会・幹事会実行準備の件 2 中大法曹会と中大出身四八期司法修習生との懇談会（七月二二日）実行の件 3 法職教育検討委員会規則改正答申書の件 4 中央大学教育研究振興資金募金推進の件 5 法曹一五号発行準備の件 6 法曹会会員名簿改訂版発行の件</p>
6・7・11	<p>会報編集委員会（第二回）</p>	<p>於 二弁地下和室 議題</p> <p>1 法曹一五号編集方針と原稿依頼の件 2 法曹会会員名簿改訂版発行の件（高千穂印刷社長出席）</p>

6・7・18	法職教育検討委員会(第十二回)	<p>於 一弁会議室</p> <p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委員会規則改正案再検討 改正のポイントは、目的を多少拡大し、委員数を増大し、任期を明確にし、委員を半数交代制にした。 2 法職特設講座の講師推薦の数や、推薦基準等に関するマニュアル作りの作業を開始する。 これに関連して、九月五日六時から、正副委員長と執行部が講師経験者から意見を聞く。 3 右を踏まえて、次回委員会で上記マニュアルについて検討する。
6・7・22	<p>平成六年度 第一回常任幹事会 同 幹事会 中大出身四八期修習生を交えての懇親会</p>	<p>於 アルカディア市ヶ谷</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本年度会務運営方針の件 2 法職教育検討委員会規則改正の件 3 本年度予算案承認の件 4 各種委員会報告の件 <p>引き続き懇親会(大盛會)</p>
6・7・27	大学問題委員会(第十二回)	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 評議員会の議事運営について</p>
6・9・6	大学問題委員会(第十三回)	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 学校法人中央大学基本規定の検討懇談会の目大申書の評議員制度等について</p>
6・9・7	第三回執行部会	<p>於 有楽町さがみ</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 法職教育検討委員会規則改正答申書の件 2 司法特設講座講師推薦の件 3 中央大学教育研究振興資金募金推進の件 4 法曹(第一五号)・法曹会会員名簿改訂版各発行準備

6・10・2	中央大学第五回ホームカミングデー	<p>の件</p> <p>5 平成六年学員会協議員選出のための支部会員名簿提出の件</p> <p>6 中央大学法曹会・学研連と法職講座大学側運営委員との懇談会（仮称・九月一日 午後五時三〇分 於駿河台記念館）出席の件</p> <p>7 第五回中央大学ホームカミングデー（一〇月二日午前一〇時）於多摩キャンパス）寄附物品及び参加の件</p>
6・10・4	大学問題委員会（第一四回）	<p>於 中央大学多摩キャンパス 法曹会から日立カラーテレビC24型（時価一六五、〇〇〇円）を景品として提供し安原幹事長及び事務局長ら多数参加</p>
6・10・7	第四回執行部会	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 平成四年十二月二六日付学校法人中央大学基本規定（寄附行為）の検討懇談会「具申書」の</p> <p>(1) 理事・監事制度</p> <p>(2) 評議員制度</p> <p>の機能、議事運営、定員、選任方法等の検討主に評議員制度について（継続）</p>
6・10・27	人事委員会（第四回）	<p>於 東弁会館</p> <p>議題</p> <p>1 司法特設講座講師推薦の件</p> <p>2 法曹（第一五号）発行準備の件</p> <p>3 法曹会会員名簿改訂版発行の件</p> <p>4 中央大学教育研究振興資金募金推進の件</p> <p>5 平成六年度第三回常任幹事会・幹事会・忘年懇親会（一二月九日（金））開催の件</p> <p>於 法曹会館</p>

<p>6・</p> <p>法職教育検討委員会(第三回)</p>	<p>於 一弁会議室</p>
<p>6・11・1</p> <p>大学問題委員会(第一五回)</p>	<p>於 東弁会館 議題 夜間部(第二部)存廃問題</p>
<p>6・11・8</p> <p>第五回執行部会</p>	<p>於 一弁会議室 議題 1 中央大学教育研究振興資金募金推進の件 2 法曹会会員名簿改訂版発行の件 3 法曹(第一五号)発行準備の件 4 平成六年度第三回常任幹事会・幹事会・忘年懇親会(一二月九日(金))開催準備の件 5 法曹会主催又は学生会との共催による特別講演会開催の件</p>
<p>6・12・7</p> <p>大学問題委員会(第一六回)</p>	<p>於 東弁会館 夜間部(第二部)存廃問題とくに「昼夜開講制」「科目別単位コース」について</p>
<p>6・12・9</p> <p>第二回常任幹事会 同 幹事会 兼四七期修習生を交えての</p>	<p>於 ホテル海洋 議題 1 会務報告(幹事長) 2 会計報告 3 各種委員会報告 ・ 人事委員会 ・ 会報編集委員会 ・ 会則検討委員会 ・ 法職教育検討委員会 ・ 大学問題委員会 4 法職教育検討委員会規則改正の件 5 学校法人中央大学評議員会の活性化についての大学問題委員会答申書の件</p>

7・1・12	会報編集委員会(第三回)	6 中央大学教育研究振興資金募金勧誘の件 7 司法特設講座講師推薦等報告の件
7・1・13	第六回執行部会(兼新年懇親会)	於 二弁会議室 議題 1 編集方針、写真掲載の件 2 各ブロック名簿分担作成の件(高千穂印刷社長出席)
7・1・19	法職教育検討委員会(第一四回)	於 青山ダイヤモンドホール嵯峨の間 議題 1 平成七年度司法特設講座講師推薦の件 2 法曹(第一五号)発行準備の件 3 法曹会会員名簿改訂版発行の件 4 中央大学教育研究振興資金募金の件
7・2・6	第七回執行部会	於 一弁会議室 議題 今後の委員会の活動方針について
7・2・7	顧問・参与、歴代幹事長らに意見を聞く会	於 東弁会館 議題 1 法曹第一五号発行準備の件 2 法曹会会員名簿改訂版発行の件 3 中央大学教育研究振興資金募金推進の件 4 平成六年度第四回常任幹事会・幹事会(三月二三日於駿河台記念館)開催準備の件 5 司法特設講座講師推薦の件
7・2・14	大学問題委員会(第一七回)	於 ダイヤモンドホール 議題 夜間部(第二部)の存廃問題
7・2・23	人事委員会(第五回)	於 東弁会議室 議題 一 学校法人中央大学関係

7・2・24	歴代幹事長らから意見をきく会	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 中央大学学員会役員任期満了による時期役員候補推薦の件</p> <ol style="list-style-type: none"> 一 東弁会館 二 法曹第一五号発行準備の件 三 法曹会会員名簿改訂版発行の件 四 中央大学・同学員会役員任期満了による後任候補者推薦の件 五 中央大学教育研究振興資金推薦の件 六 平成六年度第四回常任幹事会・幹事会（三月三三日於駿河台記念館）開催準備の件 七 阪神大震災議損金募金の件 八 人事委員会規則（案）検討の件
7・3・1	第八回執行部会	<p>於 東弁会館</p> <p>議題 中央大学学員会役員任期満了による時期役員候補推薦の件</p> <ol style="list-style-type: none"> 一 東弁会館 二 法曹第一五号発行準備の件 三 法曹会会員名簿改訂版発行の件 四 中央大学・同学員会役員任期満了による後任候補者推薦の件 五 中央大学教育研究振興資金推薦の件 六 平成六年度第四回常任幹事会・幹事会（三月三三日於駿河台記念館）開催準備の件 七 阪神大震災議損金募金の件 八 人事委員会規則（案）検討の件
7・3・2	会報編集委員会（第四回）	<p>於 二弁会議室</p> <p>議題 原稿の校正分担等</p>
7・3・8	法職教育検討委員会（第一五回）	<p>於 一弁会議室</p> <p>議題 1 改正規則に基づく次年度委員の選任の件</p>

7・3・9	司法特設講師と法曹会との懇談会（大学主催）	7・3・14	於 東弁会館 中央大学経理部長を講師として招き中央大学の平成七年度予算案等について聞く
7・3・16	人事委員会（第六回） 於 一弁会議室 議題 一 学校法人中央大学関係 二 中央大学学生会関係 学生会役員選任満了による後任候補者推薦の件	7・3・23	於 中央大学駿河台記念館 議題 1 会務報告 2 学校法人中央大学評議員制度に対する意見書の件 3 人事委員会規則制定の件（資料2） 4 中央大学教育・研究振興資金募金推進の件 5 各種委員会報告 ① 人事委員会 ② 法職教育検討委員会 ③ 会報編集委員会 ④ 会則検討委員会 ⑤ 大学問題委員会 6 司法特設講座講師推薦経過報告 報告事項 1 会計報告の件
7・4・3	人事委員会（第七回） 於 一弁会議室 議題 一 学校法人中央大学関係 学校法人中央大学選任評議員推薦の件		

7・4・25	法職教育検討委員会（第一六回）	於一弁会議室 1 改正規則に基づく次年度委員の選任の件 2 司法演習講師選任に関する件（マニュアル作成）
7・4・18	人事委員会（第九回）	於一弁会議室 中央大学学員会役員任期満了による後任候補者推薦の件
7・4・12	会報編集委員会（第五回）	於二弁会議室 議題 編集その他について最終確認 （高千穂印刷社長出席）
7・4・8	多摩キャンパス観桜会と懇親会	法曹会から安原幹事長、安藤大学問題委員長ほかから多数参加
7・4・7	第九回執行部会（兼観桜会）	於安原法律特許事務所 議題 1 法曹第一五号発行準備の件 2 法曹会会員名簿改訂版発行の件 3 平成七年度総会・叙勲者栄進者祝賀会（五月一日（休 午後五時）等開催準備の件 4 中央大学教育研究振興資金募金推進の件 5 学員会役員任期満了による後任候補者選任の件 6 副幹事長交替依頼の件 7 会計報告の件
7・4・6	歴代幹事長らの意見を聞く会	於東弁会館 議題 中央大学学員会役員任期満了による後任候補者推薦の件
7・4・4	大学問題委員（第一九回）	於東弁会館 夜間部（第二部）問題 二 中央大学学員会関係 学員会役員任期満了による後任候補者推薦の件

7・5・9	大学委員会(第二〇回)	於 東弁会館 中央大学法学部長角田教授を招き、司法特設講座運営等の状況を聞く
7・5・10	人事委員会(第一〇回)	於 一弁会議室 中央大学学員会副会長・幹事・協議員候補推薦の件
7・5・10	第一〇回執行部会	於 東弁会館 議題 第五回常任幹事会・幹事会提出次の各付議議案 1 各種委員会報告の件 2 人事委員会人事推薦の件 3 中央大学教育振興資金募金の件 4 会計報告・監査報告承認の件 5 次期役員候補者選任の件
7・5・18	第五回常任幹事会 同 幹事会 平成七年定時総会 引き続き平成六年秋、平成七年春叙勲受章 春平成六年五月一九日以降の栄進者(弁護士会 役員)新入会員祝賀歓迎大懇親会	於 中央大学駿河台記念館 幹事長挨拶 議長・副議長選出 1 平成六年度会務報告承認の件 2 各種委員会活動報告承認の件 3 平成六年度会計報告・監査報告承認の件 4 平成七年度本会幹事・会計幹事選任の件、顧問及び參與委 嘱の件 5 その他



編集後記

「中大法曹」第一五号をお届けします。

本号は、執行部と編集委員会の協議の結果、会員の諸先生方に読み易い本とすることを編集方針といたしました。

まづ、学員会事務局長のご好意により、学員会各支部の機関紙を集め、参考にさせていただきました。

昨年、中央大学名誉教授橋本公巨先生の日本学士院会員ご就任を記念しまして、中央大学学員会と中央大学法曹会は、同先生の特別講演会を開催されました。右講演は、格調高く学問的に非常に優れていることは勿論、聴く人をして、興味津々、思わずその中に引き込まされてしまうというものでありました。そこで、学員の諸先生方には、多数お聞きになっていることではありますが、橋本先生と学員会のお許しを得て、右講演を本号の目玉として掲載させていただきました。橋本先生に深い感謝の意を表しますとともに、皆様に繰り返し読んでいただければ望外の幸に存じます。

理事長、総長、学長、法学部長、学員会会長、評議員会議長、理事、国会白門会会長の諸先生方には御多忙のところ、すばらしい玉稿をお寄せいただき、本当に有難

うございました。厚く御礼申し上げます。

近年、中央大学当局においては、中央大学学生および出身者の司法試験合格者数等を増加させるため、我が法曹会の協力のもと、法律学科に司法特設講座を開設し、それに連動して法職講座に力を入れておられます。会員の諸先生方も司法試験合格者数の如何については、非常に関心が高いと存じます。そこで、特集として、『司法特設講座と法職講座』を設け、大学における担当教授である三和先生、当法曹会の幹事長として司法特設講座の開設に御尽力された野宮先生、各講座の講師として活躍中の鈴木、吉川、新井、木村諸先生にご執筆をお願い申し上げます。お陰で、所期の目的を達成したと存じます。諸先生に心からお礼を申し上げます。

会員の諸先生を代表して、村重松山地方裁判所長殿、和田澄男検事殿、池田門太弁護士殿にご寄稿をお願いしましたところ、非常にすばらしく、有益で、しかも読むのがこらない、編集目的の読み易いそのものの文章をお寄せいただき、本当に感謝に堪えません。深甚なる謝意を表します。

なお、池田弁護士の玉稿は、同先生のご希望により同弁護士が第二東京弁護士会の会報特集号に載せられたものを同弁護士会のお許しを得て転載したものであります。会員の声と消息欄は、約三百余名の会員諸先生から御

返事をいただき、充実したものができました。今後、機関紙である「中大法曹」が会員の諸先生に読んでいただけるためには、この欄の充実、拡大が最も有効な手段であると確信いたしております。ご寄稿下さいました諸先生方にお礼を申し上げますとともに、今後とも、さらに多くの諸先生に御返事をしていただきますようお願い申し上げます。

本号を読み易くするために、幹事長の安原先生、才口千春先生のお撮りになった写真を、「カット」として利用させていただきました。厚く御礼申し上げます。

会員名簿は、本年四月に、新しい会員が入会され、しかも、裁判官、検察官、公証人の方々は移動が激しいにもかかわらず、わずか一ヶ月足らずのうちに新しい名簿を編集していただき、各部門の担当の先生方にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたしますとともに、心からお礼を申し上げます。

最後に本号が出来ましたのは、一偏に執行部、会報編集委員会の諸先生方の御尽力、特に担当副幹事長鈴木誠先生、事務局長及川昭二先生のお力添えによるものであります。謹んでお礼申し上げます。

なお、高千穂印刷所の社長はじめ、皆様にもお世話になりました。有難うございました。

(編集委員長 吉田和夫記)

刑事精神鑑定例集

石田 武 編著 刑事裁判を科学的にするために精神科医と法律家の提携は不可欠である。本書は事例毎の診定に論評を加え巻末に医学用語を平易に解説。定価15,450円

米国刑事判例の動向

合衆国最高裁判所判決

- I 渥美 東洋 編 「第5修正関係」—二重危険禁止条項
刑事免責を軸に周辺の問題点にも論及。定価5047円
- II 渥美 東洋 編 「第14修正関係」—大陪審手続、人身
保護手続、受刑者の地位の判例を紹介。定価4944円
- III 渥美 東洋 編 「第6修正関係」—陪審、弁護権等、講
学上の観点から重要判例を中心に紹介。定価3502円

中国法制史(上)・(下)

張 晋 藩 マルクス・レーニン主義の唯物史観を指導理念とした法制史であり、夏から清に至る中国の法制を俯瞰する。真田 芳憲 監修(上)定価3193円(下)定価4017円

イスラーム

法と国家とムスリムの責任

真田 芳憲 著 イスラームに対する誤解と偏見を払拭すべく、その思想が実践維持されてきた過程を平易に論述。イスラームを知りたい全ての人びとに贈る。定価2884円

